平成24年３月発行

第19号

岡山市連合町内会会報

題字：兼松久和

発行人：兼松久和　〒700-8544　岡山市北区大供一丁目1-1　TEL:086-803-1063　FAX:086-803-1872　編集委員長：定廣　好和

第６回 岡山市町内会長等懇談会

２月５日百花プラザにおいて、町内会関係者、地域の安全安心の確保に携わっている方など５００名余に参加いただき、第６回町内会長等懇談会を開催しました。

本懇談会は、岡山市連合町内会の活動内容を広く町内会長等に知っていただき、相互の理解と連携を深めることを目的に開催しています。

会場の百花プラザを擁する西大寺緑化公園は、平成21年開催の全国都市緑化おかやまフェアのメイン会場で、遊具やひろばや緑の図書館を備え、子どもからお年寄りまで多くの方に親しまれています。



６回目を迎えた町内会長等懇談会

当日は、石井県知事、高谷市長、則武市議会議長、また、姉妹交流提携を結んでいる姫路市連合自治会・鳥取市自治連合会の両会長ほか多くの来賓の方にご臨席を賜りました。

冒頭、兼松会長は、各地域における町内会長の活躍に敬意を表し感謝するとともに、地縁団体の役割はますます大きくなっており地域住民のニーズを的確に把握できるよう資質の向上を図っていきたいとあいさつされました。

また、24年度事業活動については特に、地域の実情に応じた防災組織の構築や高齢者等が一人でも安心して暮せる地域づくりへの取り組みを強調、最後に平成24年度に創立50周年を迎えることから、半世紀の事業活動を総点検し、更なる飛躍を遂げるとともに、合併地域との一体感の醸成に努めていきたいと述べられました。

続いて、「れんげ賞」贈呈式を行いました。この賞は昨年度創設され、永年町内会長の地域活動を支えてこられたご家族や女性副会長の功績を讃え、参加の受賞者９名に会長がレイをかけ感謝状と花束を贈りました。

受賞者代表の謝辞、来賓あいさつの後、平成23年度活動状況を則安常任理事が報告、続いて組織のあり方検討委員会樋口委員長が組織体系等について説明しました。

活動報告に続く質疑応答では、２０１４年岡山市で開催の国際会議「国連ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）の10年」最終年会合の盛り上げへの協力要請や災害被害を軽減するため、震災対策の計画立案・着手が急がれることを踏まえた、安全・安心ネットワーク活動の取り組みへの意見などが出されました。

休憩をはさんで、「本当は恐い糖尿病」と題し、心臓病センター榊原病院の岡崎悟院長に講演していただきました。普段の生活では、食物繊維が豊富で脂肪控えめの食事や、散歩など無理なく続けられる運動のすすめがあり、食べすぎを控えるため食事は一人前ずつ分けること、バイキングは危険と話されたときには場内から笑いがもれました。最後には〝きちんと気をつければ糖尿病は本当は恐くない〟と結ばれました。

最後に近藤常任理事が講演のお礼を述べ、池上副会長の閉会あいさつで幕を閉じました。

会報19号　目次

第６回岡山市町内会長等懇談会…1
岡山区長　手代木勝任の秘められた波乱の生涯……2
会津若松市区長会と友好交流提携……4
クイズ……5
建部地域から……6
福島県郡山大会に参加して……7
瀬戸地域から……8
会員視察研修（高知市）……9
学区・地区の話題……10
三市自治組織姉妹交流会（鳥取市）……15
コラム……16
八丈島訪問記……18
東大阪市自治協議会新年互礼会に参加して……19
共済制度、れんげ賞……20
岡山市連合町内会・会津若松市区長会友好交流提携記念祝賀会……21
中四国自治会連絡協議会（西条市）……22
創立50周年記念事業を実施します……23
地域保健福祉のモデル事業、編集後記……24

《歴史とは現在と過去との対話である》

岡山区長 手代木勝任（てしろぎかつとう）の秘められた波乱の生涯 前編

《幕末から維新・会津と京そして岡山》

岡山市連合町内会 会長 兼松 久和



若松城下で藩士佐々木源八泰通の長男として誕生（一八二六）幼名源太郎、直右衛門は通称、名は勝任。（以下、勝任）城下では栴檀（せんだん）は双葉より芳しの例えの如く、神童といわれ、藩校「日新館」を卒え、昌平黌（しょうへいこう）に学んだ俊英である。父源八の実兄手代木勝富（会津藩士、家録百石）が実子がなかったので養子となる。実弟に佐々木只三郎・同数馬がいる。

勝任は、「会津藩たるは将軍家を守護すべき存在」ということが会津藩士としての真骨頂だという信念と、天性の統率力と説得力、バランス感覚を備え、重厚で存在感があり、重臣の風格を備えており修羅場に強く、乱戦が得意であった。

以上のことを念頭において勝任の節目々での活躍を考察したい。

二十三才で御供番となり、

◆（一八五三）二十八才の時ペリーが軍艦四艘を率いて浦賀に来航した。

藩主の松平容保（かたもり）が江戸湾警備のため、房総海岸を巡視する際は側近として随行した。それ以降、君側に侍した。

◆（一八六一）家督を相続して江戸詰めを命ぜられ、江戸藩邸での職務に従事する。

◆（一八六二）松平容保京都守護職に就任。勝任上洛し京都守護職公用人となる。

幕末の会津藩は公用人が動かしていたと云われ、会津藩の意思決定は、勝任を中心に四、五人で行われ、実質的に勝任は、京都町奉行所、京都所司代、京都見廻組（与頭（くみがしら）に実弟佐々木只三郎を抜擢）、新撰組をも支配下に置き、混迷する京都政局を動かしていた。

その後の勝任は、類稀な洞察力と当意即妙の判断力によって幕末から維新までの薩長と会津との対抗運動にあって実質的に一方の中心人物であったことは想像に難くない。

若し！勝任なかりせば歴史は変わっていたかも！と云われる所以である。

鶴ヶ城落城までが、勝任の半生で最も真価を発揮した時代である。

勝任とは、「会津武士道の象徴であり」もののふの哀歓が感じ取れる。

◆（一八六四）京都放火・容保殺害・孝明天皇を拉致し長州へ逃亡する謀略発覚。勝任が捕縛を容保に進言し、新撰組へ襲撃を命ずる。池田屋事件

◆（一八六五）勝任、京都会津屋敷詰め公用人・御聞番兼務を命じられる。会津藩の外交渉外を担当。将軍慶喜から積年の功を称せられ、刀・金・服地を賜る。

◆（一八六七年十月）

慶喜大政奉還を奏上。徳川家康が上洛の際の宿舎として造営した世界遺産の二条城へ。徳川幕府の始まりとその終わりに、大きな役割を果たした城だ。大坂冬の陣と夏の陣の軍議が開かれたのも、徳川最後の将軍慶喜が諸大名を集め大政奉還を発表したのもここ二の丸御殿の大広間であった。

◆（一八六七年十一月）

坂本龍馬潜伏先の醤油商近江屋で同志中岡慎太郎と殺害される。

◇

《外伝》

龍馬暗殺説には、龍馬の人脈の広さから、薩摩藩説、紀州藩説、新撰組説等々あるが、幕府にとり危険人物として京都見廻組説が有力である。佐々木只三郎は当代一の小太刀の使い手である。当然として勝任は黒幕であることは推察できる。

因みに、高松市在住、勝任の曾孫・手代木直氏（六九）所蔵の私家版によれば、次のような注目すべき記述がある。

「手代木翁死に先立つこと数日人に語りて曰く。龍馬を殺したるは実弟佐々木只三郎（会津藩士）なり。当時、坂本は薩長連合を謀り、土佐の藩論を覆して討幕に一致せしめたるを以て深く幕府の嫌悪を買いたり。この時、只三郎見廻組与頭として在京せしが、某諸侯の命を受け、壮士二人を率い、蛸薬師（たこやくし）なる坂本の隠れ家を襲い、之を斬殺したりと。けだし某諸侯とは所司代桑名侯を指したるなり。桑名侯は会津侯の実弟なりしを以て、翁は之が累を及ぼすをはばかり、終生この事を口にせざりしならん」

いずれにしても龍馬は幕末のエンターテイメントだ。軽軽に結論を急がないほうがロマンがある。

◇

◆（一八六七年十二月）

慶喜、容保に従い二条城を退き大坂城へ引き揚げる。

その後、慶喜からの幕府監察就任を固辞する。会津藩監察として鳥羽伏見の戦いに臨むが利あらず和歌山へ退く。この戦いで実弟佐々木只三郎負傷し、紀伊三井寺にて死亡。

◆（一八六八年三月）

江戸から会津へ引き揚げ大目付となる。奥州越列藩同盟に奔走。若年寄に昇進、戊辰戦争勃発。

戦況は、鶴ヶ城孤立して四方皆敵となり、容保は、勝任ほか二名を降伏の使者として米沢に送る。三名は捕縛され上州の本営に幽閉されるが、降伏の議が纏まり放免されて城に帰る。同年九月二十三日鶴ヶ城開城・降伏。慶応から明治に改元。

鶴ヶ城開城を前にして

「明日よりは
　何処の誰か眺むらん
　なれし御城に
　　のこす月影」

詠み人知らず

勝任等は、死一等を減じ美濃高須藩に永の預けとなる。

勝任の国事に関する縦横滅私の活動は、文久・元治・慶応時代が最も旺盛を極め維新後の履歴は、その余波に過ぎないが、これを省くと勝任は語れない。

◆（一八七二年二月特赦）

後の香川、高知県権参事、岡山県内郡長、岡山区長としての業績は《後編》掲載予定。

用語解説

◎昌平黌

幕府が設置した唯一の学問所。最高学府である。東京大学の前身。

◎京都守護職

幕末の動乱に対処するため、形骸化した京都所司代の上に最高機関として設置された。京都の治安維特、特に尊王攘夷派の取締りと幕府と朝廷との交渉に当たった。親藩である会津藩が藩の命運を賭けて就任。その後の戊辰戦争に続く悲運の始まりであった。

◎京都所司代

江戸時代の所司代は、鎌倉幕府に置かれた六波羅探題や室町幕府に置かれた所司代に倣って、京都の治安維持の任務に当たった。幕末動乱期には所司代だけでは京の治安維持が困難となり、京都守護職の支配下に入った。因みに最後の所司代は会津藩主容保の実弟で桑名藩主松平定敬である。戊辰戦争まで藩の命運を共にする。

◎公用人

藩主容保は、守護職の重要政務を執行する中枢機関として公用局を設置し、有能な藩士を公用人に任命。勝任も江戸詰めから招聘された。

各諸藩の尊王攘夷派・倒幕思想の取り締まり、朝廷との融和折衝、幕府諸藩との折衝を行った。

◎大政奉還

幕末の慶応三年十月将軍慶喜が政権返上を明治天皇に奏上。徳川幕府の終焉を象徴する政治的事件である。

土佐藩の建白を受け慶喜は二条城に上洛中の四十藩を召集し大政奉還を諮問。朝議で勅許が決定し、慶喜に大政奉還勅許の沙汰書が下され、大政奉還が成立した。

◎戊辰戦争

将軍慶喜が政権を朝廷に返上したにもかかわらず、朝廷では倒幕密議がなっており、鳥羽伏見の戦い後、これと同時に会津宰相（松平容保）と実弟桑名中将（松平定敬）を誅伐すべきとの宣旨が下された。江戸城開城により倒幕の目的は達成されたが、幕府の暴政を助けた罪により、会津藩へ矛先が向けられた。

◎若年寄

幕府の職制の重臣として知られているが、会津藩、仙台藩などの一部でも置かれ、家老に次ぐ重職である。藩の密事を統括する部署であり、勝任は奥羽越列藩同盟に奔走。また落城前、官軍総参謀板垣退助との開城交渉を行った。

◎岡山区長

明治十一年郡区町村編制法の施行に伴い、岡山県下は、岡山市の前身である岡山区と三十一郡となり、二十二年の市町村制まで勝任は明治十六年九月から明治二十二年一月まで二期五年五ケ月岡山区長を務めた。

手代木勝任の系譜

◎岡山系

妻喜与との間に三男三女を出生するが、男子は子を成さないまま早逝する。邑久郡の阿部家より良策を養子に迎える。現在高松市在住の直氏の祖父に当たる。（系譜図）

◎会津系

会津若松市在住の手代木和之氏の父善八の残した書付に、祖父の新吉は「勝任の妾の子である。（原文）」と告白した。

勝任以後新吉、豊蔵、善八、和之と続く。

手代木勝任系譜

- 佐々木源八
  - 数馬
  - 只三郎
- 手代木勝富
  - 勝任
    - 養子 良策
      - 善根
        - 直
    - 喜与
      - 宅寛（先歿）
      - 喬松（先歿）
      - 次三郎（先歿）
      - 元枝
      - 仲枝
      - 下枝

戦国の雄、宇喜多氏飛躍の地

亀山城跡保存会
賛助会員募集中



入会金１口1,000円で会員証を発行しております。（会費は入会金のみ）
詳しくは下記の所にお問い合わせ下さい。

連絡先 亀山城跡保存会事務局　担当　津下
岡山市東区沼1738　TEL（086）297-3541

“岡山の開祖 宇喜多氏飛躍の地”

浮田学区連合町内会

会長	兼松　久和
副会長	上松　康重
〃	三宅　勝彦
〃	津下　基
〃	石原　義正
監事	藤原　誠一
〃	須々木昭伸
女性部長	虎田　恵
相談役	南葉　道雄
〃	葉上　章
〃	安倉　輝夫

会津若松市区長会と友好交流提携

手代木勝任（元会津藩士・岡山区長）の縁により

岡山市連合町内会　副会長　岡　恒夫

岡山市民憲章に則り、温故知新の観点から、引き続き岡山の開祖宇喜多氏、中興の池田氏、幕末から維新に活躍した手代木勝任岡山区長の縁による姉妹交流提携の推進と相互訪問等、また近世郷土史の調査、研究により新しい「まちづくり」の糧とする。

〈本年度事業計画（抜粋）〉

岡山市連合町内会は、右記事業計画に基づき、全国自治会連合会全国大会が10月13日福島県郡山市で開催された翌14日福島県会津若松市区長会と友好交流提携を結んだ。

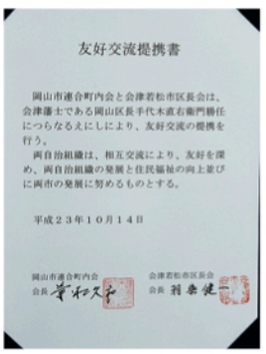
会津若松市ホテル　ニューパレスで提携調印式が行われ、会津若松市区長会から羽染健一会長ほか副会長・顧問5名が岡山市連合町内会から兼松久和会長と私が出席して提携書（写真参照）を交わした。

その際、会津若松市区長会から郷土の民芸品「赤べこ（宝べこ）」が岡山市連合町内会から「備中神楽面」の目録が記念品としてそれぞれに贈られた。

両会長は、お互いに「先人が結んだ縁に感謝し、人の優しさに共感し一層交流を深めたい」と語り固い握手で友好を誓った。今後末長い交流が期待される。



両会長の固い握手



調印された提携書

会津の人たちは、厳しい気候風土での生活、幕末期の敗戦による過酷な経験によって、耐え忍ぶ我慢強さと「ならぬことはならぬ」という矜持と気質を持っておられ、その人柄の良さにひかれます。

調印後、会津若松　室井照平市長・菅家一郎前市長が加わり、南会津と栃木県の国境に在った江戸時代の糸沢陣屋を移築した食事処において桧枝岐名物の器に盛った郷土料理「輪箱飯」を賞味しながら会食懇談が行われた。

会津若松市は福島原発の風評をもろに受け、観光客が激減するなど大きな被害を被っている。この提携が元気回復の一助になれば幸甚です。

調印式終了後の時間を活用し、会津若松市区長会　羽染会長・大橋顧問のマイカーに分乗し、駆け足で次の各所を見学した。

■「史跡若松城跡」

鶴ヶ城天守閣（国指定史跡）

再建されて45年、天守閣の屋根が幕末当時の赤瓦に葺きかえられ、漆喰の白壁に映える鶴ヶ城は化粧直しを終え昨年春に御披露目された。

■会津松平氏庭園「御薬園」（国指定名勝）

会津藩2代藩主　保科正経が別荘に薬草園を設け、各種の薬草栽培を試みたので「御薬園」と呼ばれ、3代藩主　正容の時、近江から目黒浄定を招き本格的な遠州流の庭が造られた。

■会津藩主　松平家墓所（国指定史跡）

1657年（明暦3年）に初代　保科正之の嗣子　正頼が亡くなったときに造営された。2代藩主　正経から9代藩主　容保の墓、歴代側室・子女の墓が立ち並んでいる。

■白虎隊十九士の墓

白虎隊は、戊辰戦争で戦った16～19歳の少年たちで、墓は鶴ヶ城の東北飯盛山の中腹にあり、火に包まれた城下を望みながら少年たちは若い命を散らした。

■会津藩校　日新館

江戸時代の会津藩の学校で人材育成を目的に1803年

自転車のイシイ
石井　昇
〒700-0956　岡山市南区当新田107
TEL (086)241-6670

SPORTS ENTERTAINMENT ROUND1 STADIUM
BOWLING AMUSEMENT DARTS KARAOKE SPO-CHA
国道2号沿い妹尾西交差点を東へ約900m
無料駐車場台数520台
ROUND1 STADIUM 岡山妹尾店
岡山県岡山市南区妹尾3413-1
TEL 086-282-8851
http://www.round1.co.jp/

森脇内科小児科医院
診療科目
内科・小児科・放射線科
リハビリテーション科
〒701-1152 岡山市北区津高712-1
TEL.086-253-1567

に建設された全国300藩校の中でも規模内容ともに有数とうたわれ、幕末には白虎隊を始めとする多くの人材を輩出した。

1987年（昭和62年）に当時の建物をそのまま復元する形で建てられた。



勝任が学んだ日新館

■会津武家屋敷

家老屋敷は会津藩家老 西郷頼母近悳邸を復元したもので、この屋敷は欅・桧・杉材を使用した和様建築の豪華壮大な造りとなっており、敷地面積2400坪、建物面積280坪38部屋、畳の数328枚にも及ぶ広大なものです。

戊辰戦争で西軍が城下町に乱入したとき家老頼母の家族ら21名は辞世の句を残して自決したのは余りにも有名である。

敷地の一角には佐々木只三郎の墓がある。只三郎は手代木勝任の実弟であり京都河原町の近江屋で只三郎率いる見廻組は坂本龍馬を襲い眉間を二太刀深く斬り即死させた。

只三郎は幼少の頃から剣術に励み神道精武流の奥義を窮め、小太刀では日本一の実力があったといわれる剣客だった。

■野口英世記念館

野口英世が西アフリカで殉職した1928年（昭和3年）東京の追悼会で遺徳偉業の顕彰と生家の保存を目的として野口英世記念会が生まれ1939年（昭和14年）記念館が猪苗代湖畔に開館した。

生家は、1876年（明治9年）11月9日に生まれて上京するまで19年間過ごしたこの家は築後200年近くたった今も当時の姿が保たれている。

博士が火傷した囲炉裏や上京の際に決意を刻んだ柱が残っている。

母シカからの手紙は、幼い頃に覚えた文字を思い出し、たどたどしい文章ながら息子英世に早く帰って欲しいと切々と訴え母の愛情の深さが偲ばれ胸を打つ。

クイズだれのことば

今回のクイズ

名言

①君子は己ひとりをつつしみ、人に知られる事を求めず。

②この世のものでもっとも公平に配分されているのは良識である。

③人生七十古来稀なり。

④知に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。

⑤人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し。急ぐべからず。

⑥いたずらに過ごす月日の多けれど、道を求むる時ぞ少なき。

⑦神仏を崇びて神仏を頼らず。

⑧悪貨は良貨を駆逐する。

⑨すべて商売は売りて喜び、買いて喜ぶようにすべし。

人物

ア 道元
イ 熊沢蕃山
ウ 徳川家康
エ 夏目漱石
オ デカルト
カ 杜甫
キ グレシャム
ク 宮本武蔵
ケ 二宮尊徳

今なお輝く名言と現在の世相を照らし合わせながら、言葉と人物を結び合わせて、はがきに書いてお送りください。(例:①とイ)

正解者の中から抽選で10名の方に粗品を進呈します。

〒住所・氏名を記入の上、下記までお送りください。

〈送付先〉〒700－8544　岡山市北区大供一丁目１－１
岡山市連合町内会　会報編集委員会

〈締　切〉平成24年４月27日必着

〈発　表〉発送をもって代えさせていただきます。

前言の答え

	前語	後語
1	敬天	ア 絶後
2	日暮	イ 千金
3	温厚	ウ 苦口
4	不惜	エ 揚揚
5	空前	オ 途遠
6	天長	カ 実行
7	一刻	キ 飛語
8	良薬	ク 愛人
9	不言	ケ 地久
10	流言	コ 身命
11	意気	サ 篤実
12	自力	シ 更生

＊出題（後語シ）の文字に誤りがありましたことをお詫びして訂正します。



カナダの森から岡山へ…
ウッドデッキ・リフォーム
認定工場 ツーバイフォー住宅
株式会社 岡山ウイング
岡山市南区藤田205
☎298-2414 (FAX)298-2651
URL http://www.okayama-wing.co.jp
E-mail:okayamaspf@okayama-wing.co.jp

地域に根ざした医療をめざして
虹いろ薬局
薬剤師、奨学生を募集しています。
株式会社 協同プランニング
住所：〒703-8288　岡山市中区赤坂本町 8-23
電話：086-270-0821
http://www.nijiiro7.com/

あくなき「創新」・・・
人と社会のために、
もっと、化学でできること。

kuraray
http://www.kuraray.co.jp/
株式会社 クラレ　岡山事業所　〒702-8601 岡山市南区海岸通 1-2-1 TEL.086-262-0111(代表)

岡山市連合町内会加入に当たって

建部町区長協議会　会長　池口　視善

建部町区長協議会は、3月31日をもって解散し、4月1日付で建部地域に3つの学区連合町内会が発足する予定です。又同時に岡山市連合町内会への加入申し出を予定しています。

私達は、従来の区長会から各小学校単位の連合町内会に移行しますが、社会、経済条件、意識など共通点も多くまとまりやすいため、町内会相互の連携と協調を図りながら地域の活性化のために力を尽くしていきたいと思います。

建部町は、市内でも有数の中山間地域で、人口約6、200人で、昭和35年から約40％強減少しています。それは、若者の勤める企業が少ないこと、加えて農業生産基盤の整備の遅れが生産性の低下を招いていること等が、新規学卒者を中心とした若年層の都市への流出を招いていることにもよると思います。



三世代交流風景

ここに紹介する「長尾地区」は、建部町の北部に位置する標高400m前後の中山間地域で、酪農を中心として米や野菜を自給する豊かな集落でした。昭和45年頃より若者達の流出が始まり、これに並行するように過疎と高齢化が進み、かつて35戸あった世帯数は、現在19戸と減少し、住民の大半は60才以上になっています。

この実態を踏まえ、20年前に立ち上げていた女性グループ「山ゆりの会」は、地元の人々と力を合わせて「村づくり」活動を始め、郷里を離れて暮らす若い世代に引き継がれています。その活動の主な内容は次のとおりです。

(1)　「山ゆりの会」活動の拠点は、集会所、敷地内にある加工施設。会員が加工業務に当たり、その原材料は、地域の農家が生産した農産物が中心です。加工食品の品目は、「手づくりコンニャク」「山ゆり豆腐」「米こうじ味噌」「柚子味噌」「建部ヨーグルト入りマドレーヌ」「しろ餅」などを開発し、販売しています。これらの製品は、道の駅や小売店などに卸され、消費者に好評を得ています。

(2)　平成3年から始めた「三世代交流会」は、岡山市街地を始め近隣の市町に暮す若い世代が帰省しやすいお盆の時期に、世代を超えて地域全体が交流しようと、集会所前の広場を会場にバーベキューを囲み、輪投げ、ミニゴルフなどを楽しみ、子どもからお年寄りまで一堂に会し、和やかな一日を過ごしています。

(3)　この交流会を契機に結成された若者による「桑の実会」では、いつまでも地域との結びつきを続けようと、地区に在する和田神社の重要な神事である獅子舞と棒術を奉納するため、秋祭り前より練習に励み本番に臨んでいます。

「山ゆりの会」の発想から、地元農産物の加工～商品化へと進み、流通へと発展しました。これが地域の人々に刺激となり、若い世代に故郷の有難さ、美しさを伝え、地元と絆を深めることが「村づくり」の継続につながっています。

付記　「山ゆりの会」は、平成19年11月、あしたのまち・くらしづくり活動で内閣総理大臣賞を受賞しています。

LPガスで安全・安心ガスライフ！
岡山ガスエネルギー
■本社
岡山市南区築港栄町7番地の27
TEL(086) 262-8885（代表）
■倉敷営業所
倉敷市中央1丁目27番20号
TEL(086)425-7788
ホームページ http://www.okaene.co.jp

笑顔とふれあいで満ちた介護
社会福祉法人 鷲山会
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
岡山シルバーセンター
〒701-1345 岡山県岡山市北区新庄上545-1
TEL 086-287-5111 FAX 086-287-5005
URL：http://www.silver21.or.jp/

岡山商工会議所
会頭　岡崎　彬吾
副会頭　若林　昭藏
副会頭　古市　大久
副会頭　松田　一
副会頭　劔持　誠
専務理事　窪津

手のひらに、明日をのせて。
NTT docomo
株式会社NTTドコモ 岡山支店
http://www.nttdocomo.co.jp/

平成23年度　全国自治会連合会

福島県郡山大会に参加して

岡山市連合町内会　元副会長　岡本　光男



兼松久和全国自治会連合会会長によるあいさつ

昨年10月13日に開催された、平成23年度全国自治会連合会福島県郡山大会に出席しました。

同年3月11日に発生した東日本大震災は、大きな揺れとともに、発生した津波は想像を絶する未曾有の規模となり、東北地方沿岸部を一瞬にして瓦礫化し、多くの命を奪いました。

加えて皆が安全神話を信じていた福島第一原発をメルトダウンに至らしめ、物的、精神的そして地域のコミュニティを徹底的に破壊してしまいました。

その中で開催された本大会において、栄えある会長表彰を元常任理事横山洋氏、理事岸本戴男氏、監事瀧本孝氏とともに受賞することは光栄の至りであります。一方で、被災された地域の方々に対しては少し心苦しいのも否めませんが、何より岡山の地域の皆様や自治会活動の諸先輩、活動を一緒にさせて頂いた皆様のお支えがあったからこそと感謝いたしております。

被災後の大変な中、大会をお引き受けくださった福島県、とりわけ郡山市の関係各位の皆様に温かくお迎えいただき心からお礼申し上げます。

大会が開かれた郡山市は、福島県の中央部にあり、北には奥羽山脈、東には阿武隈山系、西には全国四位の大きさを誇る猪苗代湖を有し自然豊かで、農水産物は勿論いろいろな文化・芸能も盛んです。その一つが「楽都（がくと）郡山」を標榜し、まさに合唱大国、小・中・高校がそれぞれ全国大会で連続金賞を獲得しており、また300年前から続く柳橋歌舞伎は、郡山市の重要無形民俗文化財の指定がなされています。

福島原発からは若干の距離があるものの、放射線レベルは、新聞報道にもあるとおり、事故発生前の十倍位となっているようですが、町は大変きれいに整備され、表通りから見る限り震災の痕跡は見られません。宿泊したホテルでは、食堂が修復中で玄関ホールの一部を利用しての朝食でした。

大会は、沢山の来賓の方々のご臨席を得て開会し、会長挨拶は冒頭、被災の方々に対し衷心より哀悼の意を表すとともにお見舞を申されました。そして被災地の一日も早い復旧復興を祈念しての開催であります。

福島県知事、郡山市長の挨拶に続き総理大臣メッセージ、続いて全国自治会連合会会長表彰が行われ、全77名が受賞しました。その後の行事も恙無く進み、来年の開催地姫路市代表の挨拶で閉会となりました。

講演会では、福島県出身で東京農業大学名誉教授の、小泉武夫氏の「食の安全・安心とこれからの日本」と題した講演で大変興味深いお話を伺いました。

その後千人に上る出席者の交歓会が開かれ、ご当地の方々と親しくふれあいができ有意義な会でした。

翌日は、新幹線に乗るまでの半日を利用し裏磐梯方面を訪ねました。道すがら見える豊かで広々とした田畑は一面そばが栽培され、よく実っているようですが全く収穫しているようには見えません。また、つい数日前に政府が収穫を認めた稲作は、やっとコンバインが少し見えていた程度で、放射線が地域の農業に大きく影響を与えていることが見て取れ心が痛みました。現地では、猪苗代湖畔にある野口英世の生家・記念館を訪れ、世界的な医学者となり、人類に大きく貢献した野口博士の遺徳偉業を偲びながら、被災地域に一日も早く安穏な生活が出来る日が訪れることを祈り帰岡の途につきました。

最後に大会を運営された役員、関係各位のご労苦に深甚なる敬意を表します。



受賞者とともに

仕出し・宴会
う越新（おしん）
有限会社 う越新
住　所　〒701-0213
岡山市南区中畦440-6
ＴＥＬ　086-298-2033
090-2866-2033（Soft Bank）
ＦＡＸ　086-298-1133
ＵＲＬ　http://www.uo-shin.jp
通販サイト　http://www.uo-shin.net

瀬戸地域から加入しました

江西学区連合町内会　会長　片山　正之
（前瀬戸町区長会会長）

早いもので、岡山市との合併から5年が経過し、激変緩和措置として設置された合併特例区が終了いたしました。1月末に江西学区連合町内会を設立し、岡山市連合町内会に加入させていただくこととなりました。

瀬戸町は、県東部赤磐郡の行政の要として長い歴史を持っていましたが、7年前の赤磐市合併時に独自行政を選択した後、岡山市と合併、特例区の終了に伴い、行政連絡区として60年近く続いてきた区長制度（25区）が町内会制度に変更になりました。これも新たな時代の幕開けと前向きに取り組んでまいります。

瀬戸地域は、岡山市北東部に位置し、人口1万5千人前後です。ほぼ4キロ四方の町内にJR山陽本線の瀬戸、万富の2駅を有し、瀬戸支所、警察署、税務署、県消防学校等公共機関のほか、保育園から大学までの学校群が全て網羅されております。また、福祉環境においても、各種高齢者施設、病院等が完備されており、25％以上の高齢化率地域としての対応がなされております。

一方、明治時代より鉄道の普及により県東部における物流の拠点でもあり、商店街が栄華を極めてまいりましたが、車社会の波に立ち遅れ、隣接の下市地区、平島地区の大型店舗を核とした商業域に後れを取り、近年町内店舗が激減しており、車社会に無縁の高齢者の買い物難民問題が新たに出てきています。しかし、今後、社会インフラ環境が整備され、快適な住宅地としてより発展していくと考えています。

このような環境のもと、新たに瀬戸地域から2学区連合町内会が温故知（創）新の気概をもってお世話になりたいと思いますので、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

千種学区連合町内会が加入しました

千種学区連合町内会　会長　村上　毅

「瀬戸町千種学区連合町内会」が1月31日に誕生しました。戸数1、700余の小さな学区が、市連合町内会に加入しますのでよろしくお願いします。

JR万富駅を中心とした岡山市の東の玄関口の学区です。まわりを山に囲まれた盆地の地形の中を吉井川が南北に流れています。昔は、この水運を利用して東大寺の瓦が製造されていたそうです。その遺跡が国から指定されています。また、支流の川には、天然記念物のアユモドキも生息しています。キリンビールやユニバーサル製缶の岡山工場もあります。

地区の課題は、商店数の減少に伴う「買い物難民」の発生です。また、少子高齢化に伴う人口の減少です。地区内に山陽道と美作道路を結ぶインターもできる予定で交通の便はよいのですが、高齢者には住みにくい土地です。でも、豊かな自然を生かした農産物の生産は盛んです。桃の「大久保桃」や「千種白鳳」の発生の土地です。また、特産の「大秋柿」の生産にも力を入れています。田原用水の水を利用した米づくりにも力を入れています。

学区のチームワークはよくて、万富公民館を利用した活動も活発です。人を結ぶネットワークを生かせる連合町内会にして行きたいと考えています。



桜の名所向山から見る千種学区

岡山でいちばん優しく、
親切な葬儀社をめざしています！

葬儀・法要　㈱岡葬

岡山市中区平井5丁目7-60
TEL:086-272-7211(代)
FAX:086-273-3521

24時間　365日
共通フリーダイヤル:0120-024-365

すみれの庭　平井会館
岡山市中区平井5丁目7−59

すみれの庭　東山会館
岡山市中区東山4丁目7−2

すみれの庭　みつ会館
岡山市北区御津野々口1476-3

http://www.okaso.jp



会員視察研修
高知市を訪ねて（平成23年11月9日～10日）

角山学区連合町内会　会長　池本　浩司

「皆さんおはようございます。今や恒例となった我が岡山市連合町内会のイベント、研修旅行に大勢ご出席してくださり有難うございます。今回は高知市町内会連合会を訪問することになっております。当市は近いうちに必ず起こるとされている東南海地震に対し、どのような防災対策をとっているのか、我々が一番知りたい問題を抱えている都市であります。また、一泊二日の予定で行きますので、高知市のほか四万十市も訪ね、当地で出されるであろう名物料理には、四万十川の清流で育った鮎の塩焼き、それから川エビの唐揚げ、これも実に美味しい・・・」と今回の視察研修は、兼松会長の挨拶で始まった。私の好きな作家池波正太郎の小説によく出てくる食い（く）ものの説明そっくりである。


資料を手に熱心に説明を聞く参加者

バスで2時間揺られて気がついたら高知市に到着していた。近くなったものだ。約10名の方が会場前で出迎えてくださり、早速研修会が始まった。

先ずは高知市側の活動状況の説明があり、次いで質疑応答へと会議も次第に熱を帯びてきた。当方が一番知りたい防災の点に早くも質問が集中した。対策は？との質問に対しては、ハード部分については目下検討中でありソフト部分からやっている、一番は来たら逃げることを最優先として考えているとのこと。実に明解である。さらりと回答された。更に旭川を擁する岡山市の環境が鏡川を擁するご当地の様子と類似している点で、津波が逆流した場合の対策やいかにと矢継ぎ早に質問が出る。こんなに質問が多いのであれば専門部署に来てもらえばよかったと、内々の話も聞こえた。高知側としても具体策は未だない様子であったが、今までよりその何倍か見直しを検討しているとのことであった。その中で、平常は海中にその設備が隠されていて、いざ津波が来たときには、たちまちそれが海上に立ち上がり防波堤の役割をするような設備が可能と説明されたのには驚いた。また、当地でも地震の際の液状化が予想され、地盤沈下の恐れもあるとのこと。・・・だが、今のところ手の施しようもない様子である。岡山市でも新田地区が多く、液状化現象は実に不気味な問題である。

次いで面白かったのはゴミの問題で、今後「ゴミ」とは言わず「資源」と呼んでいくキャンペーンを始めたいとのことで、全国へ発信したいとの話もあった。質問はつきないが、会議も終わりの時刻を迎えた。高知の皆様には丁寧にお答えいただき大変恐縮しました。本当にありがとうございました。

研修後は、会場となった「高知市立自由民権記念館」展示室を案内していただいた。明治維新以降のたくさんの資料が写真を含め大切に保管されていることに驚いた。

その後、高知城を見学し、四万十のホテルへ。夕食には天然鮎化粧焼、川エビ唐揚げもあり、その他珍しいチャンバラ貝、ヅガニ味噌仕立、鰻柳川鍋等珍品が目白押しで舌つづみを打った。そして仲間とも大いに親睦を深めることができ、私にとっては大変ありがたい視察研修であった。



こうち旅広場　三志士像前にて

和霊園（なごみ）
岡山市指令生安第684－1号
牧石小学校から北へ2㎞
全区画南向き平地
連絡先☎080-1928-0753（なごみ）

我が地域の安全・安心ネットワーク活動の取組み

出石地区連合町内会
会長　井上　剛

我が出石地区のシンボルであった出石小学校は平成14年3月、88年の歴史に幕を閉じ廃校となりました。その出石小学校の校歌に「大岡山の真中をしめて・・・」の一節があります。その歌詞のとおり出石地区は正に街の中央、岡山の表玄関に位置し、多くのビルが立ち並び、それに地元商店街、マンション・一般住宅が混在する地域となっています。

学校が廃校となって10年、我が地区では、地区のコミュニティを維持、深化させ、住民の安全安心を確保するため、連合町内会をはじめ各種団体が中心となり様々な活動に取組んで参りました。

出石小の跡地整備が完了するとすぐに盆踊り、体育祭、文化祭を復活させ、三世代ふれあい日帰り旅行、老人会親睦日帰り旅行などを開催して、地域コミュニティの深化を図ると共に、防犯パトロール、児童の登下校時見守り、中心部の一斉清掃、独居高齢者訪問、健康フェスタ、介護予防教室の開催など住民各層に対応した活動を行って参りました。また、各単位町内会などでは、夏祭り、秋祭り、日帰り旅行、餅つき大会など実情に応じて、親睦を深める活動に取組んでおります。

自助・共助・公助の重要性が叫ばれていますが、昨年の東日本大震災でも災害発生直後に力を発揮したのは、自助、共助であり、共助の中でも、特に「ご近所様」の声掛け、助け合いが何よりも大きな力を発揮したとも報じられております。

当地区においても今後、多様な地域特性の中で暮らす地区住民一人ひとりの安全安心を確保するため、出石全体での取組みに合わせて、各町別といったより小さな単位でのコミュニティの深化を図ることも念頭に、「住んでよかった、住んでみたい出石地区」を目ざしたいと考えております。



蒜山高原への三世代ふれあい日帰り旅行

ひらつお化け屋敷

平津学区連合町内会
会長　久世　英一

豊かな田園風景が広がり、春には桃の花が咲き、静かで穏やかな学区、それが私たちの平津学区です。

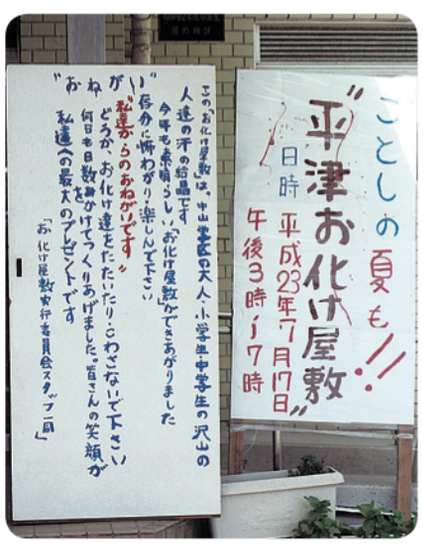
5年前小学校ＰＴＡのみんなが、青少年健全育成を目的とした行事ができないかと話し合い、子供たちと一緒に「ひらつお化け屋敷」を立ち上げ、夏休み前の三連休に行いました。あまりにも大きな反響に今後も続けていくことになり、連合町内会に相談がありました。

学区では、盆踊り、秋祭り等はそれぞれの町内で行い、運動会等体協の行事以外では学区民が一緒に何かを行うことはありませんでした。学区民みんなの思いは、仲良く、幸せで、明るい元気な学区をめざそうとの思いから「安全・安心ネットワーク」を立ち上げたばかりでした。この行事を子どもから大人までのみんなですることにより学区民が一体となって行くのではないかと思います。

「ひらつお化け屋敷」は、中学生・小学生が立案、計画、準備を行い、地域の人たちが応援します。子ども達に地域の昔話などを話しながら、楽しく準備し、体育館内に怖いコースと少し怖いコースの2コースを作ります。

本番当日は、地域の方たちが屋台を出し飲食をサポートし、子どもや地域の方たちが楽しい一日を過ごしています。これからもみんなで協力しながら続けていこうと思います。

昨年の台風では、笹ケ瀬川が増水し学区内の道路も冠水し、不安な一夜を過ごすことになりました。今後は防災に関しても、岡山市防災担当課と相談しながら安全・安心の学区を目指しがんばっていこうと思います。



学区民の汗の結晶ひらつお化け屋敷

便利で住み良い宇野学区

宇野学区連合町内会
会長　島村　誠一

我が宇野学区は、明治初年頃、上道郡宇治郷に属していた村と、御野郡に属していた村より形成され、その際宇治郷の「宇」と御野郡の「野」をとって「宇野村」となり、昭和6年に岡山市に編入され「宇野学区」になりました。

当学区は、旭川の東岸に沿って岡山市の北東方向にあり、名園「後楽園」に接し、市の中心部へ至近距離の大変便利な場所にあります。

岡山市の中心部に近いことから、以前は近郊野菜農家が多いのどかな地域でした。今では想像出来ませんが、昭和30年代の終わり頃までは「百間川」の河川敷では稲作が行われていて、秋には川の中が黄金色に染まりました。

昭和37年に旧国道2号線が開通し、道路網の整備と共に住宅が早いスピードで増加してきました。現在21町内会で人口18、500人余り、世帯数8、500世帯余りになっています。

学区内の主な施設としては、岡山市中区役所、岡山中央警察署、岡山県立操山中・高等学校、就実大学・短大、夢二郷土美術館等があり、近年JR山陽線「西川原・就実駅」も出来ました。また、学区内の「百間川」は、散策が楽しめる他に河川敷には、軟式野球場、ソフトボール場、テニスコート、多目的広場等が整備され、休日には若者の歓声が聞こえ、平日には年輩者のグラウンドゴルフを楽しむ姿が見られます。

岡山市の中心部に近いけれど、環境が良く施設の充実した宇野学区に是非一度来てみてください。



平成20年３月に開業した西川原・就実駅

古都学区の歴史遺産を後世に

古都学区連合町内会
会長　遠藤　　旭

古都学区は古くより吉備の国上道郡居都郷に属し居都の庄と称し、当時の領域は古都学区はもとより旧上道町、財田下村を含む広い地域であったそうです。奈良・平安時代は京の公家（くげ）　山科家の管理する皇室御領でした。そのため、古い地名・遺跡が今でも残っております。

宍甘（しじかい）には学区代表格の巨大な「山王山古墳」があり、その他学区のあちこちに古墳群があります。藤井には江戸時代参勤交代名残の本陣の一部が現存しております。古都宿には藤井の宿より古い本村の宿があったようです。和銅六年「柵原鉱山」が美作分国となり、備前の国に鉄鉱山（てっこうざん）が無くなりました。と同時に古都郷鉄村（くろがね）で鉱山が発見されました。これが地名の由来となりました。足利尊氏が諸国に建立した安国寺跡も鉄村（くろがね）にあります。古都南方には奈良時代建立の備前国四十八ケ寺のひとつの室山満願寺（えんよう）があり、有名な西大寺の会陽を始めた忠阿上人の墓所と伝えられている五輪の塔があります。また学区内には大化改新以来の条里制を忍ばせる地名が多数残されております。四坪（しのつぼ）・九坪（くのつぼ）・二十坪（はたち）等です。

古都学区ではこの名所・旧跡・産業をカルタに読み込んで、「古都ふるさとカルタ」と称して毎年古都小体育館でカルタ取りをやっております。この先人たちの遺産を後世に伝えるべく努力しております。



古都ふるさとカルタ

未来に託すふるさとへの思い

第一藤田学区連合町内会
会長　守屋　英夫

藤田地区は、ご存知のとおり児島湾の干拓事業により生まれました。干拓の計画は岡山藩時代からあり、明治期になり資金難から暗礁に乗り上げていたのを、関西経済界の重鎮であった藤田伝三郎が、大がかりな国土創生計画に夢を感じて引き受けたと言われています。不況、大洪水、塩害など幾多の困難を乗り越えて、現在の姿が完成したのは昭和33年で、着工以来実に65年もの歳月がかかりました。藤田翁の偉業は、第二工区を中心とした干拓地に「藤田」の地名がつけられ、昭和50年に岡山市に合併された今でも地区名として継承されています。

第一藤田学区は、地区内でも早くから干拓されたところであり、広大な田園が広がっていますが、近年の小規模開発により、一部地域では宅地化の傾向が見られます。かつての米麦を主体とした純農村は、農作業の高度な機械化が進むとともに都市近郊という利点を生かし野菜の生産など多角的な農業経営に移行しつつあります。特に、レタス・レンコン・タマネギ・ナスは県内のみならず県外でも高い評価を得ています。

また、昨年は明治45年4月に藤田村開村と同時に、藤田尋常高等小学校として誕生した、現在の第一藤田小学校の創立１００周年という記念すべき年になりました。11月6日には、関係者約５００人が出席し記念式典を開催。昨年の卒業生が作詞した地元の田園風景を盛り込んだ「希望のふるさと」の合唱に、出席者はふるさと藤田への思いを新たにしていました。

時代を担う子供たちの健全な成長と母校のさらなる飛躍を願い、今後も地域で支援していくことを誓いあった式典でした。

藤田に息づく干拓者精神を今後とも大切にし、次代に伝えていきたいと思います。



記念式典で合唱する児童

甲浦学区安全・安心を守る会
～各種団体との連携見守り～

甲浦学区安全・安心を守る会
総務担当（郡町内会会長）　畑上　悟

私たちの甲浦小学校区において、安全・安心ネットワークの立ち上げについて11町内会長との会合を開き、当学区で安全・安心の町づくりに取り組むことで全員の賛同のもと、甲浦小学校校長、教頭、学区連合町内会三役で協議し、平成18年11月28日に光南台公民館に於いて、各種団体14、教育関係8、特別賛助3、計25団体で発足いたしました。名称を「甲浦学区安全・安心を守る会」と決定し、各役員、役割分担、会則、事業計画等確認いたしました。

事業計画は、まず7項目を掲げ、特に力を注いだのは、甲浦小学校児童の登下校の見守り、不法投棄の監視、環境美化、学区内のパトロールで、関係のある講習会、会議には積極的に参加し、意識の高揚に現在も努めております。また、隣接学区団体、南区内団体との青パト隊の交流、親睦は現在も続けております。

学区内では、五十数台の青パト車が、午前、午後、夜間と公園や暗い場所など青少年の集まりやすい所等を複数人で見回りをしております。また、当学区は、すぐ南に連山があり、ため池など三十数箇所ありますので、台風などの接近時には、各種団体との連携により、危険箇所の見回り、発見に努めております。北は児島湾、児島湖に面し、特に台風、豪雨の満潮時の警戒と皆様のご苦労は計り知れないものがあります。

最後になりましたが、ガソリンなど諸物価の高騰にもかかわらず、活動に取り組む皆さんのボランティア精神には頭が下がります。今後とも、地域の安全・安心を後世に引き継ぎ地域の発展につながるよう、努力、改善に努めてまいります。


甲浦小児童登校時の見守り

岡山市連合町内会の動き

◎理事会
・第5回（10月18日）
岡山市町内会長等懇談会 他
・第6回（12月20日）
組織のあり方検討委員会答申 他
・第7回（3月5日）
瀬戸地域からの入会届の提出について 他

◎常任理事会
・第4回（10月18日）
岡山市町内会長等懇談会 他
・第5回（12月20日）
組織のあり方検討委員会答申 他
・第6回（3月5日）
瀬戸地域からの入会届の提出について 他

◎専門委員会
・会報第19号編集委員会
（11月2日）（1月16日）（1月31日）（2月27日）
・JR快速電車導入期成会
（10月31日）
・ゆかりの地との交流・郷土史研究会
（11月7日）（11月28日）
・共済制度導入検討委員会
（12月19日）（2月1日）
・組織のあり方検討委員会
（10月19日）（12月5日）（12月13日）（1月20日）
・男女共同参画専門部会
（1月12日）
・ICT推進専門委員会
（12月22日）
・電子町内会意見交換会
（3月10日）

◎会津若松市との友好交流提携調印式（会津若松市）〈関連記事P4〉
（10月14日）

◎姫路・鳥取・岡山姉妹交流会（鳥取市）〈関連記事P15〉
（10月25日）

◎岡山市連合婦人会との懇談会
（11月1日）
連合婦人会役員の皆さんから、婦人会未結成地域での組織の結成にあたり、町内会の協力を求める声が多く寄せられました。


連合婦人会役員と懇談

◎岡山市幹部職員と常任理事会構成員等との懇談会
（11月4日）
市幹部職員から、各局室の重点項目等の説明を受けた後、防災対策、行政サービスの拡充等について活発な質疑応答、意見交換を行いました。

◎会員視察研修（高知市）〈関連記事P9〉
（11月9日～10日）

◎岡山市社会福祉協議会正副会長との懇談会
（12月8日）
当会から正副会長、組織のあり方検討委員会会長が参加し、地域福祉等について意見交換を行いました。

◎会津若松市との友好交流提携記念祝賀会（岡山市）〈関連記事P21〉
（12月14日）

◎新春互礼会及び市政報告会
（1月10日）
メルパルクOKAYAMAにおいて、高谷市長、佐古副市長、則武市議会議長と会員71名が出席し、兼松会長あいさつ、受賞報告、市政報告のち、懇談を行いました。

◎瀬戸町区長会・建部町区長協議会との懇談会
（1月17日）
合併特例区の終了を前に今後の課題等について意見交換を行いました。

◎岡山市町内会長等懇談会実行委員会
（9月15日）（10月3日）
（11月29日）（1月12日）
（1月27日）

◎岡山市町内会長等懇談会〈関連記事P1〉
（2月5日）

◎教育長との懇談会
（2月8日）

◎市長との懇談会
（2月27日）

◎受賞報告
◇犯罪のない安全・安心まちづくり知事表彰
（10月11日）
▼功労賞
芳田学区安全・安心ネットワーク 代表者 吉森 旭
▼まちづくり賞
加茂学区安全・安心ネットワーク 代表者 定廣好和
牧石学区安全・安心ネットワーク 代表者 廣田省吾
◇岡山市有功表彰
（11月3日）
塩飽幹廣、岡 恒夫
◇瑞宝小綬章（消防功労）
（4月29日）
奥田 勝
◇永年勤続町内会長市長表彰
（11月30日）
▼15年以上勤続学区・地区連合町内会長…2名（表彰状）
▼20年以上勤続単位町内会長…11名（表彰状）
▼退任（5年以上勤続）単位町内会長・区長…89名（感謝状）
（氏名は敬称略、順不同）



電設資材・照明器具・電線・配分電盤・防災火報機器・制御機器
通信機器・床暖房機・住宅設備機器・エアコン空調・LED照明
太陽光発電システム・デジタルテレビ・オール電化機器・総合卸
パナソニック㈱エコソリューションズ社代理店
パナソニック株式会社代理店
古河電気工業株式会社代理店
赤木電機株式会社
電材卸部：岡山市北区問屋町19-102（岡山県卸センター内）
☎(086)243-2111（代）FAX 243-7941
本社：岡山市北区中山下1-6-55（柳川交差点南）
☎(086)222-8111（代）FAX 224-1459

お弁当のことなら なんでも ミヨシノ
おかやまミヨシノ
〒702-8002 岡山市中区桑野131-6 ☎(086)200-1717
えきまえミヨシノ
〒700-8552 岡山市北区駅前町1-3-3 ☎(086)232-3344
フリーダイヤル 0120-35-3355

「淳風誠心」 ～人にやさしく、心をこめて～
社会福祉法人 淳風福祉会
http://junfuku.jp
〒700-0072 岡山市北区万成東町2-28
〒701-0206 岡山市南区箕島3566-1
TEL(086)281-0862 FAX(086)281-4586

岡山県自治会連合会の動き

◎岡山県消費生活懇談会
・第1回（2月7日）

◎平成23年度全国自治会連合会福島県郡山大会〈関連記事P7〉
10月13日（郡山市）
福島県郡山市において開催され、岡山県自治会連合会からは15名（事務局含む）が参加しました。

◎中四国自治会連絡協議会〈関連記事P22〉
2月23日（西条市）

全国自治会連合会の動き

◎平成23年度全国自治会連合会福島県郡山大会〈関連記事P7〉
10月13日（郡山市）
全国の31都道府県から約千名の町内会・自治会関係者が「楽都郡山」に集い、連携・交流並びに親睦を図りながら、豊かで住みよい地域づくりを促進し、更なる連帯の絆を深め合うことを目指し、開催されました。また、東日本大震災により甚大な被害が生じた東北地方で開催し、地域が手を携え助け合うことの重要性を再認識するとともに、地域コミュニティの新生を図り、東北地方の復興へ向けた一歩とする大会となりました。

第1部 大会
1 開会のことば
2 会長あいさつ
3 開催地知事あいさつ
福島県知事 佐藤雄平
4 開催地市長あいさつ
郡山市長 原 正夫
5 内閣総理大臣メッセージ披露
6 全国自治会連合会表彰
◇平成23年度全国受賞者 78名
岡山県受賞者 6名
岡山市関係者
横山 洋、岡本光男
岸本戴男、瀧本 孝
7 来賓祝辞
8 大会宣言
9 藍綬褒章受章者紹介
10 次期開催地あいさつ
11 閉会のことば
～がんばろう 福島！～

第2部 協働のまちづくり 実践報告会
テーマ
歌舞伎の里－中田町柳橋地区のふるさとづくり－
報告・出演
柳橋歌舞伎保存会
郡山市立御館中学校

第3部 講演会
演題 食の安心・安全とこれからの日本
講師 小泉 武夫氏
（東京農業大学名誉教授）
～WELCOMEハーモニー～出演 福島県立安積黎明高等学校合唱団

第4部 交歓会
全国の自治会関係者が交流、情報交換を行うとともに、大いに親睦を深めました。

◎常任理事会
第4回 2月14日（那覇市）
平成24年度事業計画案等について協議を行いました。

◎沖縄県内住民自治連合組織との懇談会
2月14日（那覇市）
那覇市、宜野湾市ほか本島内の住民自治連合組織と各地域の課題等について情報交換、懇談を行いました。

◎平成23年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰式
11月25日（東京都）
全国受賞者 41名
岡山県受賞者 3名
岡山市関係者
岡村 耕輔、樋口 正信


（左から）岡村耕輔氏、兼松会長、樋口正信氏

◎各自治会連合会会長等との懇談会
9月14日（長野県岡谷市、塩尻市）
9月27日（島根県出雲市、大田市）
11月24日（長野県小諸市）

◎中部自治会連絡協議会
10月20日（岐阜市）

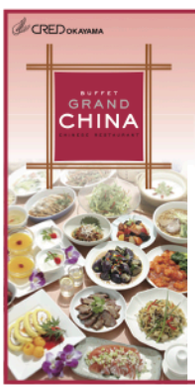
◎中四国自治会連絡協議会〈関連記事P22〉
2月23日（西条市）
（氏名は敬称略、順不同）



えんどう牡丹園
遠藤太郎
〒701-0221
岡山市南区藤田649-52
TEL・FAX(086)296-6398

有限会社 須々木組
岡山市北区玉柏1290－1
TEL：086(228)1233

社会福祉法人 健寿会
特別養護老人ホーム
プルミエ岡山
ケアハウス（特定施設入居者生活介護）
アミティ瀬戸
〒702-8012 岡山市南区北浦100
☎(086)267-2323 FAX267-2488


CREDOKAYAMA
中華バイキング
ブッフェ グランチャイナ
クレド岡山20F Tel.086-235-1076
冷菜・湯菜（スープ）・温菜・飲茶・飯・お粥・拉麺・甘点心（デザート）など各コーナーに並ぶ中華メニューは約60種類！キッチンから出来たてをご提供します。
【営業時間】
ランチタイム 11:00～17:00
ディナータイム 17:30～22:00〔平日〕
17:00～22:00〔土日祝〕
大人料金
ランチ（90分） 1,385円
ディナー（120分） 1,785円
ソフトドリンクバー（飲み放題） 210円
平日は時間制限なし

電気・冷暖房・設備工事
(有)矢津電機
岡山市南区箕島 1359-3
TEL.(086)282-0534(代)
FAX.(086)282-5048

三市住民自治組織姉妹交流会

岡山市連合町内会　相談役　深井　忠夫



交流会冒頭の兼松会長あいさつ

平成23年10月25日、鳥取市自治連合会・姫路市連合自治会・岡山市連合町内会姉妹交流会に参加した。池田光政侯の縁により結ばれた**三市の住民自治組織が連携を深め**、相互の情報交換により一層の資質の向上と組織の充実発展を目的とする交流会も今年で5回目。鳥取県での第31回全国豊かな海づくり大会の開催に合わせ鳥取市での開催となった。参加者は総勢59名。三市組織の各会長のあいさつに始まり、各会から提出の3つのテーマによって意見交換が行われた。

まず初めに岡山から定年制について。姫路の参加者からは、本会の正副会長の平均年齢が73・5歳（平成23年6月1日現在）であることから、会長の任期が1期または2期で終わることになり、運営上の問題点が生じないかと心配する声も上がったが、議長には、勇気ある決断をしている、この提案を受け自分たちの組織に合うシステムづくりができれば、と結んでいただいた。

次に姫路から水害に伴う危機管理について。避難所運営方法、避難勧告の情報伝達、平常時の自主防災の活動状況と3つの問題点が指摘された。当会から台風12号の際の避難状況等について報告を行ったが、鳥取市においては、訓練実施の町内会に対し、62地区の自主防災会からなる鳥取市自主防災会連合会から1回一万八千円を限度とする助成、または、消火用のホース1本が支給されるとのことであった。提案市の姫路からは、防災訓練の成果が思ったほど上がっていない点や水害に対する認識の甘さなどが指摘され、訓練も中途半端でなく、地震なのか、水害なのか、どんな災害を想定しての訓練なのか、はっきりと目的意識を持ってやるのが良いのでは、という意見があり大いに共感した。水害、地震、津波など多面的な災害にどう対応するか、地域の実情をよく知る我々が何よりも優先する人命をいかに守るか、その対策を地域で立てていかなければ、と痛感したところである。

最後に鳥取から総会開催方法の改革について。鳥取市では総会の構成員が約870名に及び、会員の方針決定へ参画機会の確保、民主的な組織運営の維持等の検討により24年度から代議員制の導入を予定しているとのこと。多くの方が意見を出しやすい場を設け、その意見を反映できるシステムづくりに取り組んでおられる様子が伝わってきた。組織の活性化を目指し知恵を出し合っている点はいずこも同じである。

2時間弱の交流会は瞬く間に終わり、昼食をはさんで山陰海岸ジオパークの見学へ。これは、京都、兵庫、鳥取の三府県三市三町にまたがる東西110㎞、南北最大30㎞の地域で、約2500万年前にさかのぼる日本海の形成にかかわる多様な地形や地質を見、そこに暮らす動植物、文化や歴史を学ぶことができる。予定されていた海上からの浦富海岸の見学は、あいにくの強風により車中からの見学となったが、訪れた山陰海岸学習館では資料や映像でその魅力に触れることができ、岩や海岸線など地形の神秘と豊饒の海を感じる視察研修であった。

回を重ねるごとに三市組織の結びつきは強まり、今後ますますこの絆が深まっていくことは間違いない。名残惜しいが、来年の姫路市での再会を約して解散となった。



JA岡山は
『ありがとう伝えて広がる協同の和』を合言葉に
次世代農業従事者はもとより、JA事業をご利用の方々へ
広く組合員加入を推進しています。

since 2000
ありがとう伝えて広がる協同の和
岡山市農業協同組合

JA岡山
岡山市農業協同組合
〒700-8535　岡山市北区大供表町1番1号
TEL(086)225-3251　FAX(086)225-9878

自転車の道路利用に思う

鹿田学区交通安全対策協議会　会長　目黒　宏平

道路交通法の一部改正により、自転車利用についての規定の整備が進められています。

交通量の多い道路では例外的に歩道上を利用してもよいが、**歩行者がいて通行が無理な場合には車道に出る**こととなっています。また、**自転車は自転車レーンを横断する**こととなっており、信号待ちの自転車が横断歩道前に横一線に並び、青になると一斉にスタート、自転車レースはいけません。

歩道上はあくまでも歩行者優先であり、自転車が歩道を通行する場合は、車道寄りを徐行し、**携帯電話など使用しない、両耳を音楽等を聴くためイヤホンで塞がない**等、安全運転に努め、歩行者への配慮が必要です。

最近では、車道上、歩道上での自転車レーンの設置など工夫改良がなされてきており、自転車利用が出来やすい環境も次第に整えられてくるものと期待されるところです。

現状の道路事情のままでは自転車は道路上から追い出され道路利用が大変不便です。

しかしながら、一方では、ルールを守らず、マナーの悪い自転車利用者も多く、自転車の基本ルールである左側通行、夜間ライトの点灯、二人乗り禁止、雨降りの時の傘差し禁止等々守られていないのが現状で、自転車が関わる事故が最近特にクローズアップされてきています。

私自身20年間交通安全のボランティア活動をしてきましたが、年々交通マナーが悪くなるばかりで、自転車の横暴が平気でまかりとおる現状を見るにつけ如何ともしがたい思いをしているところですが、関係機関の強力な指導と取り締まりを切に願っている今日この頃です。



自転車、歩行者が入り混じる横断歩道

「教育」再生のリード役

加茂学区連合町内会　会長　定廣　好和

以前から懸念されてきたこととは言え、遂に落ちるところまで落ちた感じだ。何かといえば岡山の教育問題である。マグニチュードで推し量れない巨大地震が我が愛する郷土岡山をいま揺るがしている。いわゆる児童・生徒の「荒れ」と「学力」の現状である。

市教委は対策として地域協働学校を推進し、現在36中学校区の内、19校区で運営されている。評議員制度では、学校側の説明を聞くことが主に対し、これは地域との連携を深め、その声を学校運営に活かそうというものだ。某中学校の荒れ対策が発端と聞く。

安全・安心ネットワークは市教委の呼びかけにより平成18年小学校区に組織化、中学校区に連絡協議会設立の経緯がある。よく似た構成メンバーの会合は他にも多々ある。地域協働学校の設立が屋上屋を重ねることになりはしないか。連絡協議会を活かすべきで、会議体を安易に創るべきではない。とかく新しい酒を新しい革袋に入れたがる行政の恣意的発想がいまの事業仕分けに至っていることを銘ずべきだ。

各方面から地域の力や地域との連携が期待される中、地域代表たる連合町内会長はいかに地域をまとめられるか、正に真価を問われている。将来の岡山を担う若人の教育再生は、連合町内会長自らライフワークとして取組むに足るテーマではないか。地域の願いでもあり、やり方はある。どこかの国の借金問題同様に、先送りしたり、看過してはならない問題である。



Super Car Inspection
車検のコバック


中国運輸局指定　民間車検工場
㈲西崎自動車　岡山北店
〒701-2142 岡山市北区玉柏1833-2 TEL.086-228-0441 FAX.086-228-1057
0120 Free Dial 0120-550079

税理士
岸本充博
〒700-0812
岡山市北区出石町二丁目3－5
TEL 086-227-5780
FAX 086-233-3820

内科・外科・整形外科・形成外科・リハビリテーション科
神経内科・泌尿器科・胃腸科・リウマチ科
麻酔科［ペインクリニック（痛みの専門外来）］
医療法人 三樹会 梶木病院
院長 梶木秀樹
岡山市北区西花尻1231-1
TEL(086)293-3355㈹
http://www.kajikihp.or.jp/

街の本屋との幸せな出会い

旭東学区連合町内会　会長　渡邊　學

当たり前のことだが、本はどこで買っても同じだ。例えば野菜のように「あの店のレタスはいつもシャキシャキしている」とか「しいたけを買うならここが一番」といったことは本にはない。まれに扱いが雑なのか汚れてしまった本を見かけることはあるが。

だからネット書店で買っても街の本屋で買っても本そのものの価値は変わらない。しかし、本屋にはその本を選んで並べた人の思いというものが存在している。その思いこそが本屋の個性で、その本屋の存在価値がある。

例えば、口下手な店主でも陳列された本棚を見れば、どのような狙いでこの本を並べたのか何となく分かる。その無言のメッセージから店主の人となりが見えてくるような気がする。その中で「おっ」と思う本なり店主と出会うことができたなら、それは幸せなことに違いない。

昨今、街の本屋が少なくなっているのは事実だ。しかし、世の中には本好き、本屋好きな人がまだまだいるということ。そんな人に支えられているから、たとえ店は小さくとも街の本屋はこだわり続け、決して本屋が無くなることはないと思う。

本屋に行けば、リアルな本の手触りがある。もしも自分が望むなら、自分が全く知らなかった世界の扉を開いてくれる本と出会いも必ずある。その一歩を面倒くさいと思うか、それより楽しいと思うか、意外とその垣根は低いはずだ。本屋には楽しむ余地がまだまだたくさん残っている。



防災訓練に思う

芳田学区連合町内会　会長　吉森　旭

平成23年3月11日東日本大震災の悲惨な被害が起きて津波の怖ろしさに防災意識が高まるなか、23年9月3日台風12号が十三年ぶりに岡山地方を直撃し、大雨・洪水警報が発令され、笹ケ瀬川が氾濫危険水位を超え、越水する恐れがあるとして、初めての避難勧告が発令されました。

芳田学区自主防災会は、22年6月18日に設立し、役割分担及び連絡網も決めておりましたが、いざ、災害が発生するとその機能は働かず、9月3日午後5時にやっと避難所の開設ができました。

これでは緊急時には役に立たないと判断いたしまして、今回防災訓練を行いたいとの思いから行政機関の協力を得て師走には入りましたが12月4日決行いたしました。

今回の防災訓練は連絡網による伝達が最後まで行き届くかが重点でありましたので、予め自主防災会の役員には日時を伝え、12月3日午後5時に「明日9時から防災訓練を実行する」ことを伝えましたところ、当日9時前にはほとんどの方が集まりました。

防災訓練の内容は、「東日本大震災」のDVD研修とAEDの操作方法を教わり、火災の初期消火に役立つ消火器の取り扱い体験をして訓練は無事終了といたしました。

これから何時発生するか分からないと言われている東海・東南海・南海地震が三連動発生した場合は、津波が児島湖の締切堤防は超えるだろうと思われますし、児島湖に流入する河川が逆流する可能性は大きく被害は免れません。

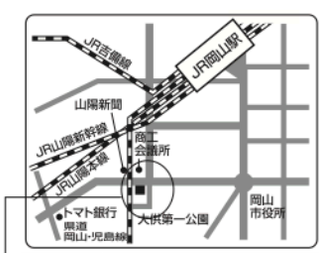
今回の避難訓練では十分とは言えませんが、住民の防災意識が高まって来たと考えられ、今後充実した訓練を実施したいと思います。



防災訓練　研修のようす

救急病院　社会医療法人　労災指定
(財)日本医療機能評価機構認定病院
光生病院
理事長・院長　佐能量雄
TEL(086) 222-6806(代)
佐能量雄
医学博士　㈳岡山県病院協会専務理事・全国公私病院連盟常務理事

内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・心療内科・泌尿器科・皮膚科・ペインクリニック内科・精神科・外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・形成外科・放射線科・リハビリテーション科
診療時間　平日　午前9時～12時　午後1時～7時
土曜日　午前9時～12時
休診日　土曜日午後・日曜・祝日
(但し急患はこの限りではありません)
http://www.kousei-np.or.jp
岡山市北区厚生町3丁目8－35
(岡山商工会議所向側)



バスの場合
岡山駅より倉敷方面行き 厚生町下車徒歩3分
岡山駅よりタクシーの場合
岡山商工会議所向側 駅より10分

八丈島訪問記・・パート2

岡山市連合町内会　相談役　片山　晋


墓前に手を合わせる兼松会長

◆秀家公墓所・・・墓所に満ちる生花

23年11月15日エアバスA320は12時50分に八丈島（別名瓢箪島）の空港へ着陸した。直ちに秀家公の墓所に向かい、墓前に線香と生花を手向け、慰霊の言葉を捧げた。

秀家公の墓所は勿論のこと周囲にあるほとんどの墓所に生花が供えられており、先祖を敬う八丈島人情の一端が見えた。秀家の菩提寺宗福寺住職の話によると、秀家は生涯水汲み女（現地妻）を持たず、秀家の誠実な人柄が偲ばれるとのことであった。また、特赦により数万石の大名に取り立ての打診があった時に、威儀を正した秀家は私は豊臣家に恩義がある身と丁重に断ったと言われるが、この事も秀家の人柄の一端を現在に語り伝えているエピソードである。なお、15日には南海タイムス社の菊池記者が同行して下さりいろいろと情報提供を頂いた。

◆町長訪問懇談

11月16日9時に町役場に到着。兼松会長が訪問挨拶の時、髙谷岡山市長の親書を山下町長に手渡して後懇談した。山下町長からの秀家・豪姫の像建設に関わる思い出話や瀬戸内海と太平洋の魚の味の善し悪し談義等、地域の交流に関連して話は続いた。なお、この懇談には山下・水野の両町議会議員も参加され交流に極めて高い関心を示された。懇談の様子は昨年11月17日の山陽新聞にも掲載された。

10時から樫立公民館で秀家顕彰・交流を含めた兼松会長挨拶の後、笹本自治会長等4人と懇談した。島の自治会としては独居住民の安否確認が喫緊の課題であると話されていた。南海タイムス昨年11月18日号によると、八丈島の一人世帯は1725（42％）と報じている。このことは八丈島のことだけでなく、やがて岡山でもこのようなことがおきる可能性が危惧される。ご子息が岡山市在住の会長さんもおられて交流への思いは強く感じられた。


樫立公民館前にて

◆島の暮らしを豊かにした流人文化

17日には歴史民族資料館等で研修を深めた。八丈島への流人は秀家一行のような文化人や、高度な技術等を有する者も多く、来島後に島の生活を豊かにする事に大きく貢献し、島の人々の敬愛を受けたものと思われる。もちろん遭難者や島送りの人達を温かく受け入れてきた島の人達の人情の厚さが根底にあった事は言うまでもない。

八丈島で忘れられないのは**赦免花**である。**赦免花**は蘇鉄の花のことであるが、数年に一度咲くか咲かないかの花である。この花を見つけた流人の多くに不思議と赦免の知らせが届いたとされることから、この名があるが、何時訪れるとも知れぬ赦免に希望を託し、遥かなる故郷に思いを馳せる流人たちの心情は涙なしには語れない。秀家の住居跡の蘇鉄は、このような流人たちの思いを抱きしめ、この場所で流人たちを見守り現在に至ったものである。


秀家お手植えの蘇鉄

医療・介護の安心ネットワーク

●総合病院　岡山協立病院
岡山市中区赤坂本町8-10　086-272-2121
●岡山協立病院歯科
岡山市中区赤坂本町8-10　086-271-1978
●岡山東中央病院
岡山市中区倉田 677-1　086-276-3711
●せいきょう駅元診療所
岡山市北区駅元町 17-3　086-252-0323
●わかくさ診療所
岡山市中区赤坂本町1-12　086-271-4692
●コープみんなの診療所
岡山市中区乙多見 101-4　086-278-8522
●コープ西大寺診療所
岡山市東区西大寺中2-20-33　086-944-0088
●せいきょう玉野診療所
玉野市羽根崎町5-10　0863-81-1696
●在宅福祉センター福浜
岡山市南区福富中2-8-7　086-902-0228
●在宅福祉センター倉田
岡山市中区倉田 668-1　086-200-1729
●在宅福祉センター北長瀬
岡山市北区西長瀬字花里 58-1　086-246-4300
●グループホーム福浜
岡山市南区福富中2-8-10　086-264-1077
●デイサービス虹の家
玉野市御崎2-25-35　0863-81-8801



岡山医療生活協同組合　理事長　浪尾　淑子
岡山市中区赤坂本町2-20　電話　086-271-0943
http//www.okayama-health.coop

八丈島に貢献した人達と内容（抜粋）

1 村田道珍斎
・・医師　秀家と同行

2 太田　道寿
・・医師
5～9代将軍の御殿医
太田道灌の弟

3 菅野　八郎
・・養蚕　黄八丈
（絹織物・草木染め）

4 丹宗　庄右衛門
・・いも焼酎

5 近藤　富蔵
・・島の百科全書（絵）
蝦夷・千島探検
近藤重蔵の子

きたのは、温暖な気候（注①）・島人の厚い人情・魚介・明日葉・医師、そして秀家が俗世間を超越して悟りの境地にあった故と思われる。なお、秀家を匿った島津義弘も85歳と長寿であり何かの因縁を感じる。終わりに尊光院殿秀月久福大居士のご冥福をお祈りすると共に、この度の八丈島訪問に当たり格段のご協力をくださいました皆様に心からお礼を申し上げ、秀家顕彰と交流が一層進むことを念じて訪問記パート2を終わります。（注②）

＊注①
1月の最低平均気温が岡山2・1度　八丈島7・9度

＊注②
訪問記パート1は、平成22年9月発行、会報16号に掲載

◆明日葉（あしたば）青汁の元祖　秀家？？？

＊明日葉・セリ科の多年草で、今日葉を摘んでも明日の朝にはもう芽が出ていると言われるほど成長力・生命力にあふれるので明日葉と言われる。島の人の話によると秀家たちは、葉は勿論のこと根も擂って食した。明日葉青汁も飲んでいた？？

秀家が84歳の天寿を全うで



根つきの明日葉

東大阪市自治協議会 新年互礼会に参加して

男女共同参画専門部会　副部会長　難波　雪子（前大野学区　日吉町町内会　会長）

大阪城を借景に緑の木々と川、静かな場所にホテルニューオータニ大阪があります。こちらが会場です。新年の華やかさに加え、市長ほか府議、市議も含め1000名に近い参加者で熱気あふれる会場となりました。

互礼会は、羽田副会長からの親睦と協同、明るく住み良い快適な心かよう町づくりの第一歩は、地域の人々が触れ合い、話し合うことから始まる、とのあいさつがありました。

続いて松浦会長は、まず皆さんへの感謝の言葉と参加の兼松会長へのお礼の言葉を述べられ、今後の方針として、リーダーの育成、交通安全、安全・安心の町づくり、東北の視察、人道的費用の支援協力を挙げられました。

来賓としてご出席の野田市長は、協議会への感謝とお礼の言葉に続き、東大阪市においても震災への対応に万全を期していくことを強調され、変動の時期にある大阪で、地方が自治体の形成を担い、東大阪市から困難を脱していくと意気込みを語られました。

続く市議会議長、参議院議員のあいさつの中でも安全・安心な地域を支える協議会の活動に期待する声が続きました。

東大阪市自治協議会の組織は、小学校54校、45の連合町内会から成っています。それぞれに男性会長と女性部長がおられ、多くの女性の方々が活躍されています。単純に東大阪市の組織と比較することはできませんが、自治会における男女共同参画を実現されている東大阪をひとつのモデルとしながら、地元岡山での女性の活躍が待ち遠しいところです。女性ならではの視点や心配りは、安全・安心な町づくりになくてはならないものと自負しつつ、これからも地域活動に取り組んでまいりたいと思います。



東大阪市役員と難波副部会長（右）


● 外国人のための日本語学校
● 日本語教師養成講座
岡山外語学院
TEL:086-231-5211
www.okg-jp.com

団体研修・合宿の宿泊先に！

10人以上の団体
1泊朝夕食2食付
￥4,000～
(株)アジアの風
TEL:086-234-8030
www.asianwind.jp

地域とともに未来を拓く
藤田団地事業協同組合
一般社団法人藤田団地管理会
藤田団地汚水処理施設管理組合
藤田企業団地自治会
〒701-0221 岡山市南区藤田566番地の162

学校法人本山学園
西日本調理製菓専門学校
岡山医療技術専門学校
インターナショナル岡山歯科衛生専門学校
デイサービスセンターあいざたっち
岡山市北区大供3丁目2－18
TEL. 086－223－8822
http://www.motoyama-e.com

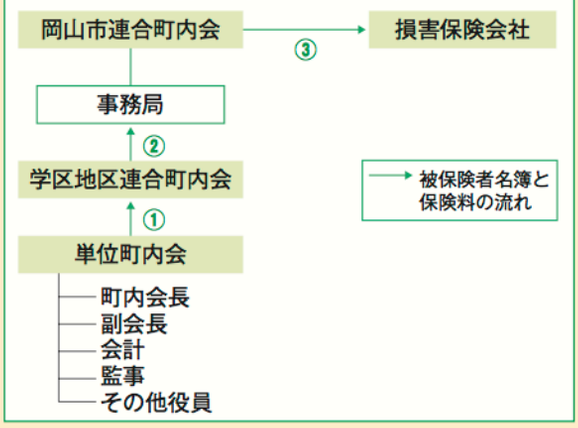
平成24年度から　町内会活動を支える
『町内会活動傷害共済制度』が始まります

平成22年度から導入の検討を進めてまいりました共済制度がいよいよ本年4月から始まります。

この『町内会活動傷害共済制度』は、町内会活動中に事故に遭われた際のケガ等に対して保険金をお支払いする制度です。**岡山市連合町内会に加入する学区・地区連合町内会に属する町内会役員等の皆様に加入いただけます。**制度の詳細につきましては、パンフレット・チラシをご確認ください。

加入のお申し込みは、単位町内会で取りまとめのうえ、学区・地区連合町内会を通じて岡山市連合町内会へ提出していただくこととなります。

《加入申込みの流れ》



①被保険者（補償の対象となる方）を単位町内会で取りまとめていただき、学区地区連合町内会へ　被保険者名簿と保険料をご提出下さい。

②学区地区連合町内会が各単位町内会の被保険者名簿と保険料を取りまとめ、岡山市連合町内会へ提出します。

③毎月の加入手続締切日までに到着した被保険者名簿と保険料を岡山市連合町内会から損害保険会社へ提出･振込みを行います。

加入手続が完了すれば、補償がスタートします。

「れんげ賞」を贈呈

岡山市連合町内会では、昨年度「れんげ賞」を創設しました。

「あなたは私の苦痛を和らげる」というれんげの花言葉にちなみ、日ごろから地域のために活動されている会長を陰で支え、会長のご苦労を和らげる存在でもある配偶者等の方々及び学区・地区連合町内会、単位町内会において、相当の期間、副会長として活動されている（された）女性の方々に対し、その協力援助の功績を讃え、お力添えに感謝の意を表すという趣旨から「れんげ賞」と名づけ感謝状を贈呈するものです。

2回目となる本年度の贈呈式は2月5日、岡山市町内会長等懇談会の席上行われました。

当日は、受賞者のうち9名の方にご出席いただき、兼松会長から感謝状と記念品をおひとりおひとりにお渡ししました。なお、今年度は次の方々に贈呈させていただきました。

西大寺町町内会　赤松　英子
御野町内会　木下　延子
谷万成町内会　小泉　昌子
新屋敷町町内会　鳥越　幸子
西古松南本町町内会　福井　幸夫
野崎町内会　鷹取　和子
大野辻町内会　森　照子
国清寺町町内会　岩田志津子
財田学区連合町内会　岡　幸子
下町内会　田淵　照子
藤原町内会　原渕　幸子
旭竜学区連合町内会　瀧本世直子
西大寺南学区連合町内会　楠本　澄子
大宮学区連合町内会　榊原　弘子
岡山市浮田学区青葉団地町内会　石原ヒトミ
朝日学区連合町内会　岡本　香
福富中町内会　谷岡　敦子
木村町内会　角田伊世子
芳明学区連合町内会　伏見　貴予
樋之口町内会　長原　重子
南新町町内会　川上　笑子

（以上　21名　敬称略）

皆様には、今後ますますお元気で、影となり日向となり会長の活動をお支えくださいますようお願いいたします。



れんげ賞贈呈式にご参加の皆さん

お気軽にご相談ください
なるほど子育て!!
赤ちゃんとのかかわり方
kids21 子育て研究所
テレビ視聴・言葉遅れ・発達障害
しゃべらない、笑わない、遊べない、多動、キレるなどコミュニケーション不良の子どもたちが増えています。原因は、テレビ、ビデオ、CD、電子おもちゃ、早期教育カード、パソコン、携帯電話など一方通行の環境が赤ちゃんの育ち方を混乱させるのです。ヒトは生まれると本能的に母親への接近を求め、母親は母乳を与える、見つめ合う、抱っこするなど相互の交流が満足感、幸福感を生み、「心の絆」が作られるのです。応答的環境と愛着が人間関係の原点です。


メタモル出版より発売中
～お問い合わせ～
〒701-1334　岡山市北区高松原古才497-16
TEL:086-287-2550　FAX:086-287-9275
E-mail:nkataoka@mist.ocn.ne.jp
ホームページ:http://www.okayama-ikiiki-shiawase.net/kids21.html

地域に根づいた医療と福祉
IKENAGA group
ゆうふうかい
医療法人　雄風会
外来診療
入院
在宅医療（地域ケアチーム）
医療福祉連携室
在宅系サービス
通所リハビリテーション（デイケア）、通所介護（デイサービス）
短期入所療養介護・短期入所生活介護（ショートステイ）
訪問看護、訪問介護（ホームヘルプ）、訪問リハビリテーション
施設系サービス
介護老人保健施設（介護老人保健施設）
介護老人福祉施設　認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
ぎふうかい
社会福祉法人　義風会
特別養護老人ホーム（ケアハウス）
居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター
健康増進センター
（メディカルフィットネス）
ドックセラピーの調査研究
（病）かりゆし、シルバーピアーズ、まいるふ倉敷、あしもり競失センター、NPO法人介護福祉者ドックセラピー普及協会、kids21 子育て研究所
【医療法人　雄風会】
あしもりクリニック
・医療福祉連携室
・あしもりデイケアセンター
新あしもりクリニック
・新あしもりデイケアセンター
介護老人保健施設　高梁アクティブホーム
・アクティブデイケアセンター
・アクティブデイサービスセンター
訪問リハ診療所
あしもり訪問介護ステーション
【社会福祉法人　義風会】
特別養護老人ホーム　瑞守荘
・定守荘グループホーム
・定守荘デイサービスセンター
・あしもり居宅サービスセンター
・アクティブ介護保険サービスセンター
・あおそら在宅介護支援センター
ケアハウス　あしもり
デイサービスセンター　瑞守荘
ホームヘルパーステーション　瑞守荘
あしもり健康増進センター
平成24年10月　地域密着型特別養護老人ホーム　OPEN!!
（小規模多機能型居宅介護事業所・保健入所生活介護事業所併設）
＜岡山市北区立田地内＞
（病）かりゆし
介護付有料老人ホーム　アートライフあしもり
グループホーム高梁
おおそらホームヘルパーステーション
○本部
TEL：086-295-9567
○医療法人　雄風会（あしもりクリニック）
TEL：086-295-1133
○社会福祉法人　義風会（定守荘）
TEL：086-295-1800

岡山市連合町内会
会津若松市区長会
友好交流提携記念祝賀会

ゆかりの地との交流及び郷土史研究会

委員長　池上　正和



「赤べこ」「猿田彦命の面」お互いの記念品を前に

平成23年12月14日会津若松市区長会と岡山市連合町内会との友好交流提携記念祝賀会が「ピュアリティまきび」で開催された。

昨年10月14日会津若松市において、明治16年から現在の岡山市長の前身である岡山区長を2期6年務めた会津藩士手代木勝任の縁による、会津若松市区長会と岡山市連合町内会との友好交流提携の調印式が行われた。〈関連記事P4、5〉

そして今回、12月14日雪の会津から晴れの岡山へ会津若松市区長会羽染健一会長ほか小林正一、渡部洋于両副会長、大橋寛一顧問と手代木勝任から5代目の子孫にあたる会津若松市在住の手代木和之氏の一行5人をお迎えした。

岡山市からは兼松会長以下5人が出席し、高谷市長と「岡山人じゃが2009」の中で岡山人に成りきった勝任を紹介している、岡山ペンクラブの日高一氏を来賓にお招きした。

祝賀会開会にあたり、兼松会長は人間の本質、会津人かたぎに触れさせてもらい、懐の深い会津の皆さんとこれからも末永く交流していただきたいと挨拶。

羽染会長は、勝任についてはそれほど知られていなかったが、業績について岡山から教えてもらい大変な大人物だったと改めて見直している。最近見つかった勝任の実父の書「勤書」によると、勝任は大変な秀才だったとあり、このように優秀な勝任のつながりを大事にし、今後も末永く岡山と会津の友好を深めていきたいと述べられた。

手代木和之氏からは、岡山で顕彰を続けていただいていることに感謝いたしますとの言葉をいただいた。

その後、交流提携を記念して、岡山市から岡山県の伝統芸能である備中神楽の「猿田彦命の面」を会津若松市区長会へ贈呈。区長会からは、会津での調印式の際に郷土玩具である「赤べこ」を戴いている。

式典終了、記念撮影の後、東山墓地にある手代木家の墓所に勝任夫妻の墓参りをし、線香をお供えして遺徳をしのんだ。

翌日は史跡見学にまず、備前市の日本最古の庶民学校である閑谷学校に案内した。平日で見学者もほとんどなく、閑谷神社、聖廟、国宝の講堂、楷の木などを見学した。会津には「日新館」という藩校があり非常に興味深く見学されていた。

また、日本三名園の一つの後楽園に案内し、冬の名園を散策してもらったが一寸寒かったかな。

昼食には、岡山名物「祭りずし」を召し上がっていただき、この交流提携が今後も住民レベルで益々発展していくよう、更なる交流を誓ってお別れした。

各種舗装工事　土木一式工事
代表取締役
八谷徹之
有限会社 八栄工業
YATANIグループ
〒702-8012 岡山市南区北浦982-4
PHONE・FAX (086) 267-3807
E-mail／y_k_yaei@zpost.plala.or.jp



平成23年度
中四国自治会連絡協議会

本年2月23日（木）西条国際ホテルに於いて平成23年度中四国自治会連絡協議会（以下協議会）が開催された。

協議会は、平成12年に全国自治会連合会中四国ブロック会議として岡山市で設立。今回で12回を数え、この間自治会相互の親睦・交流を深めるとともに、地域に於ける自治会を取り巻く諸課題について意見交換を行い、活動の推進に寄与してきた。



愛媛県内各市連合会も参加しての協議会

協議会は、会長である鳥取県自治会連合会の池原範雄会長挨拶の後、全国自治会連合会兼松久和会長から「ここ数年来町内会・自治会の存在意義が高くなっている。地域住民のニーズに的確に対応するため一層の研鑽に励まなくてはならない。協議会が皆さんとともに全国の先鞭を切るようお願いしたい。」との挨拶をいただいた。

今回は、未加入である地元西条市連合自治会、新居浜市連合自治会、今治市連合自治会からオブザーバーとして20名の出席をいただき、総勢65名が集い、盛大な会となった。また、愛媛県市町振興課長の進龍太郎氏（元岡山市企画局長）を来賓にお迎えし、岡山市との縁のある会となった。

意見交換では、

①昨年の東日本大震災を機とした防災意識の向上及び自治会を中心とした自主防災組織の組織率の向上の必要性及び地域の絆を構築するための自治会加入の促進

②自治会加入の促進策として目標を設定し、全町内会で取り組んだ事例

③市町村合併による自治会組織の統合が進まない事例

④森林災害の危険性と健全な森林育成の促進

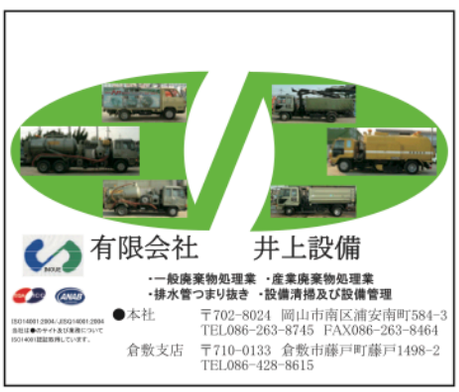
⑤全国自治会連合会への加入促進策として他ブロックとの共同開催等の議題について協議を行なった。

特に防災意識や自主防災組織への取り組みは、各県によって温度差があり、災害の少ない岡山県が最も低いことは否定できない。

昨今首都圏で震度7以上の直下型地震が起こる可能性があるとの情報、また南海・東南海地震の発生、毎年起こりうる台風・集中豪雨など大災害に対する防災対策について、ライフラインが切断された場合には行政は当てにならない。日頃から地域コミュニティの中心組織である町内会・自治会の存在、役割が重要になってくるという共通認識を得た。こうした観点から、地域の中で孤立した世帯があってはならず、町内会・自治会への加入を勧めていくことも重要である。

協議会の継続の中で、高知市町内会連合会が全国自治会連合会へ加入し、今年度は愛媛県自治会連合会の加入の気運が高まった会と言える。

最後に、次期開催地を鳥取県米子市で調整をお願いし、閉会した。


有限会社　井上設備
・一般廃棄物処理業　・産業廃棄物処理業
・排水管つまり抜き　・設備清掃及び設備管理
●本社　〒702-8024 岡山市南区浦安南町584-3
TEL086-263-8745 FAX086-263-8464
倉敷支店　〒710-0133 倉敷市藤戸町藤戸1498-2
TEL086-428-8615

医療法人　医清会
老人保健施設　マスカット苑
入所・通所介護サービス
〒701-1141　岡山市北区菅野4281-1
Tel(086)294−1123　Fax(086)294−1114


創立50周年記念事業を実施します

岡山市連合町内会は、昭和38年2月に岡山市連合町内会協議会として23学区により発足しました。以来、昭和・平成の合併を経て、24年度初めに95学区・地区へと発展し創立50周年を迎えることとなりました。この半世紀の間、奉仕の精神を根幹に住民自治の原点に立ち、行政との協働により安寧な地域社会の維持・発展及び住民生活の向上に努めてまいりました。

ここに、創立50周年を記念し、半世紀の歩みを振り返るとともに、地縁団体としての絆を一層強化し、平穏で安らぎのある我が地域の構築と魅力あふれる政令市岡山のまちづくりを目指し、更なる発展を誓いあう場として記念大会を開催いたします。

記念大会開催
日時：平成25年2月1日（金）
午前10時
場所：岡山シンフォニーホール

下記のとおり実行委員会を組織し、記念事業の企画検討を進めているところです。また、半世紀の歩みを検証しながら、記念誌の編纂も予定しています。今後ともご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

岡山市連合町内会創立５０周年記念事業実行委員会実施体制

- 実行委員長：兼松　久和
- 実行委員長代行：池上　正和
- 副実行委員長：岡　恒夫
- 副実行委員長：分島　良俱
- 相談役：片山　晋・赤木　實男／藤原　浩・深井　忠夫
- 会計：吉森　旭・樋口　正信
- 監事：荒木　弘之・瀧本　孝

企業協賛等検討委員会

委員長	目黒　宏平
副委員長	西谷　萬二
	則安　基直
委員	樋口　正信
	定廣　好和
	高原　久幸
	藤原　浩
	黒住小弥太
	深井　忠夫
	遠藤　太郎

記念誌編纂委員会

記念誌担当副実行委員長	岡　恒夫
委員長	藤原　浩
副委員長	池田　太郎
委員	池上　正和
	黒住小弥太
	吉田　勝則

総務部会

部会長	岡　恒夫
副部会長	西谷　萬二
委員	目黒　宏平・遠藤　太郎
	赤木　實男・岡村　耕輔
	上林　道典・黒住小弥太
	日笠　秋良・渡邊　盛幸
	村田　智美・太田　皓義
	小堀　政美・河内　操
	石山　勝美・片山　正之

事業部会

部会長	分島　良俱
副部会長	則安　基直
委員	徳田　忠顕・近藤　俊彦
	廣田　省吾・岸本　戴男
	黒住　卓弘・定廣　好和
	中原　寿・渡邊　學
	黒田　智昭・藤原　浩
	根川　恒・深井　忠夫
	池田　太郎

三井のリハウス

不動産を売りたい方と買いたい方を結びつけ、より良い住みかえを実現する売買仲介業務を行います。地域に根ざしたサポートで、住みかえの良きパートナーとして皆さまのお役に立ちたいと願っております。

まずは
無料相談
無料査定
から
秘密厳守いたします。

No.1
三井不動産販売ネットワークは'86年度～'10年度の25年連続全国売買仲介取扱件数No.1です。
※新聞報道等による。

三井のリパーク
駐めやすさは、クォリティ。

総合駐車場事業「三井のリパーク」では、「駐めやすさは、クオリティ」をモットーに、幅広い形での駐車場整備を行っています。また不動産オーナー様には土地を有効活用し、リスクの少ない有利な駐車場経営をご提案いたします。

最大限に有効な土地活用を、柔軟にご提案。
一括借上方式のため、投資のリスクも少なく、運営管理の手間もありません。

安定収入確保　初期費用不要
ランニング費用不要　運営・管理業務不要
期間・土地形状問わず
まずはお気軽にご相談ください。

駐車場による土地活用

三井のリパーク 駐めやすさは、クォリティ。

※建物解体、アスファルト舗装、外構、固定資産税などの租税公課や町内会費はオーナー様のご負担となります。







三井不動産販売中国株式会社
国土交通大臣免許（5）5169号（社）岡山県宅地建物取引業協会会員（社）不動産流通経営協会会員
（社）全国宅地建物取引業保証協会会員 中国地区不動産公正取引協議会加盟

◎三井不動産販売中国岡山支店へのお問い合わせは
tel.086-941-0031
〒700-0902 岡山市北区錦町6-1（両備ビル1F）［営業時間］10:00～18:00（定休：水曜日）

地域保健福祉のモデル事業

岡山市では、各小学校区・地区の安全・安心ネットワークにおける地域福祉や健康づくりの分野の活動を推進するため、平成22年度から「地域保健福祉のモデル事業」を実施しています。

このモデル事業は、各小学校区・地区の安全・安心ネットワークが取り組む高齢者の交流の場であるサロンの設置・運営や高齢者世帯等への見守り・声かけ活動などを支援するもので、これにより、安全で安心なまちづくりにつながるよう市の関係部局と社会福祉協議会、地域包括支援センターが連携して、推進しています。



ふれあいサロン弘西

サロンは、高齢者などを対象に介護予防や寝たきり予防などの健康づくりやコミュニケーションの促進などを目的として、定期的に地域のコミュニティハウスなどに集まり、茶話会、料理教室、お花見などの季節行事、健康体操などを行っています。

見守り・声かけは、高齢者世帯等の日常生活の安否確認や閉じこもり対策などを目的に定期的に訪問することによって、健康や暮らし等についての不安を解消し、住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らしていけるよう、地域による助け合い活動を行っており、その一つの手段として、「あんしんカプセルおかやま」を配付しています。

これは、既往症、かかりつけ医、緊急連絡先といった医療情報を記した用紙（あんしんカード）をカプセルに入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の救急時のために準備しておくものです。本人が病気やけがで倒れ、会話ができない状態になっても救急隊員や第一発見者がカプセルの情報を確認し、医療機関への引き継ぎ、緊急連絡先にある親族等との連絡をスムースに行うことができます。


あんしんカプセルおかやま

そのほか、災害時要援護者避難支援台帳の活用や対象者宅への訪問や緊急時避難誘導などに役立てるためのマップ作りなども行っています。

これらの活動は、地域の方々が話し合って、各地域に合った方法により、平成22年度は16小学校区・地区、平成23年度は19小学校区・地区で取り組んでいます。平成24年度も年度当初に募集を行い、多くの小学校区・地区の安全・安心ネットワークで活動に取り組んでいただきたいと考えています。

編集後記

編集副委員長　近藤　俊彦

旧岡山市と4町との合併という、全国で初めて設置された合併特例区が平成22年3月の御津、灘崎に続き、建部、瀬戸も本年1月21日をもって終了となり、名実ともに一体となった「政令市岡山」の今後ますますの発展が期待されます。

第19号編集委員会の構成は、委員経験のあるのは定廣委員長のみで、メンバーが一新され、ほぼ全員が初めての経験となりました。読みやすい紙面づくりへの意気込みは十分だったのですが・・・。

さて、毎号掲載の「学区・地区の話題」では、皆さんの地域の安全・安心ネットワーク活動の参考になる取り組みや訪れてみたくなる地域の記事がありましたでしょうか。興味を持ってお読みいただける内容となっていれば、幸いです。そして、恒例になりましたクイズは頭の体操に役立っているでしょうか？感想を添えてのご応募をお待ちしております。

編集委員会では、今後とも、連合町内会の活動報告等を通じて、親しまれる会報、町内会活動の参考としていただける会報を目指し、工夫を重ねてまいりたいと思いますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご協賛くださいました企業、団体様及びお骨折り頂きました関係各位並びにご寄稿くださいました皆様方に心より厚くお礼申し上げ、編集後記といたします。



【編集委員長】　定廣　好和
【編集副委員長】　近藤　俊彦
【編集委員】　池上　正和
深井　忠夫
目黒　宏平
吉森　旭
渡邊　學